



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月2日

上場会社名 株式会社プロルート丸光 上場取引所 JQ  
 コード番号 8256 URL <http://www.proroute.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳央  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 原田 一美 TEL 06(6262)0303

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年3月21日～平成19年6月20日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	10,036	(1.1)	571	(—)	547	(—)	304	(—)
19年3月期第1四半期	9,923	(0.1)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
19年3月期	36,874		1,511		1,394		617	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	16	73	—	—
19年3月期第1四半期	—	—	—	—
19年3月期	33	65	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	22,570		6,942		30.8	381	67	
19年3月期第1四半期	—		—		—	—	—	
19年3月期	21,375		6,762		31.6	371	77	

(注) 売上高以外の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っているため、前年第1四半期及び対前年同四半期増減率の数値は記載しておりません。

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 3 月 21 日～平成 20 年 3 月 20 日）【参考】

当第 1 四半期の業績は、概ね当初計画に近い水準で推移しており、平成 19 年 5 月 8 日に発表いたしました通期及び中間期の業績予想について変更はありません。

3. その他

- |   |   |   |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無              | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無            | : | 無 |

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他 をご覧ください。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は原油価格の高騰など不安定な要素はあるものの、企業収益の改善、設備投資の増加に加え、個人消費も上向きで、引き続き回復基調にあります。しかしながら流通業界に限ってみれば、一部を除きその流れに乗っているとは言い難く、とりわけ衣料品業界は依然として苦戦を余儀なくされております。

そのような状況のもと、当社グループにおきましては主幹事業である専門型前売卸業の更なる営業力拡大で業界トップ企業へ躍進するための企業の「格」を高めていく方針を掲げ、

- 1) 新たな存在価値を創出する[プライベートブランド]商品開発と開発基盤構築
- 2) 売場営業拡大のために、提案型売場作りの強化
- 3) 成長力ある顧客創造と新規専門店開拓

等に取り組み、来店客数は増加、また新規顧客の売上も着実に増大いたしました。

以上の結果、当四半期の売上高は 100 億 36 百万円（前年同期比 1.1%増）、営業利益は 5 億 71 百万円、経常利益は 5 億 47 百万円、純利益は 3 億 4 百万円となりました。

なお、当社グループの場合、売上高及び利益が、第 1 及び第 3 四半期には高く、第 2 及び第 4 四半期には低くなる傾向があります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

第 1 四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 1,195 百万円増加しました。主な増減は、流動資産では売掛金の増加 658 百万円などがあり、また、流動負債では買掛金の増加 323 百万円、短期借入金の増加 269 百万円などがありました。

純資産は、その他有価証券評価差額金などが増加し、180 百万円の増加となりました。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・ たな卸資産の計上は、実地棚卸を省略し、帳簿たな卸高によっております。
- ・ 税金費用については、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。
- ・ 影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な方法を採用しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 4. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 1 四半期末	(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	970,428	832,604
2 売掛金	3,392,298	2,733,808
3 棚卸資産	1,434,873	1,227,359
4 その他	254,561	181,887
流動資産合計	6,052,161	4,975,660
II 固定資産		
1 有形固定資産		
(1) 建物	4,023,646	4,025,830
(2) 土地	10,065,754	10,065,754
(3) その他	448,930	456,994
有形固定資産合計	14,538,332	14,548,579
2 無形固定資産	67,737	71,208
3 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	740,300	704,030
(2) 差入保証金	722,102	734,542
(3) その他	449,674	341,144
投資その他の資産合計	1,912,076	1,779,718
固定資産合計	16,518,146	16,399,506
資産合計	22,570,308	21,375,166

(単位：千円)

科 目	当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 1 四半期末	(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額
(負債の部)		
I 流動負債		
1 買掛金	1,547,422	1,223,786
2 短期借入金	8,813,600	8,544,040
3 その他	1,495,855	871,127
流動負債合計	11,856,877	10,638,954
II 固定負債		
1 長期借入金	2,766,900	2,942,800
2 退職給付引当金	867,567	869,713
3 その他	136,456	161,306
固定負債合計	3,770,924	3,973,819
負債合計	15,627,801	14,612,773
(純資産の部)		
I 株主資本		
1 資本金	1,861,940	1,861,940
2 資本剰余金	1,456,450	1,456,450
3 利益剰余金	3,272,845	3,241,385
4 自己株式	△ 93,868	△ 93,868
株主資本合計	6,497,367	6,465,906
II 評価・換算差額等		
1 その他有価証券評価差額金	445,139	296,486
評価・換算差額等合計	445,139	296,486
純資産合計	6,942,506	6,762,392
負債純資産合計	22,570,308	21,375,166

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 〔平成 20 年 3 月期〕 第 1 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額
I 売上高	10,036,460	36,874,186
II 売上原価	7,811,445	28,918,319
売上総利益	2,225,015	7,955,866
III 販売費及び一般管理費	1,653,648	6,444,648
営業利益	571,366	1,511,218
IV 営業外収益	20,457	60,149
V 営業外費用	44,555	176,775
経常利益	547,269	1,394,592
VI 特別利益	—	—
VII 特別損失	16,408	218,507
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	530,861	1,176,085
税金費用	226,553	558,811
四半期 (当期) 純利益	304,307	617,274

以 上